

# vegeta 新聞

## 今年のカゴメトマトジュースは8月8日発売開始！

トマト 因島圃場でトマトの収穫が終了しました。結果は7日間で130基と、昨年(70基)の1.7倍の収量でした。栽培担当の優さんによると、「苗の定植後に水を撒いたことで活着率が高く、初期成育が上手くいきました。また今年は雨が多かったですが、予防的に散布した薬がよく効き病気が発生せず、さらに雨で水分量も豊富だったため実が良く太り、良い結果につながりました。」とのこと。続けて8月からは安芸高田市高宮地区での収穫予定です。



(因島トマト収穫の様子)



(カゴメトマトジュース商品画像 カゴメ株式会社 HP より)



<「カゴメトマトジュース プレミアム」 グラスカットイメージ>

収穫後のトマトはカゴメ株式会社の工場へ運ばれ、「カゴメトマトジュース プレミアム 2023」と「つぶより野菜」という商品に使用され、販売されます。カゴメのトマトジュースは1933年に発売以降、今年で90周年を迎えられました。その中でもこちらの商品は、ネット予約販売で毎年完売する人気商品です。今年は8月8日から発売開始！現在ネットから事前予約も可能です。以下のURL、またはQRコードを読み込んでいただくと、工場

製品になる過程を360度VRで見ることが出来ます。

<https://youtu.be/Hc5QTuRKvrQ> (工場見学VR)

<https://shop.kagome.co.jp/order/cart.php> (商品事前予約ページ)



**今年も県立大学生が研修に来ます。** 広島県立大学の学生さんが8/21~9/22の1か月間、研修に来られます。月~金曜日(うち農作業は火水木の3日間予定)に4人組グループで訪れ、毎週メンバーが変わります。意欲的な学生さんも多く、何か質問を受けただけで答えてあげてください。昨年は高宮町でトマト作業機が石の影響を受け不具合が多発しましたが、手で拾って収穫する作業を学生さんに手伝ってもらい助かりました。今年も主にトマト収穫作業に入ってもらおう予定です。夏の暑い中の作業に慣れていない方も多いため、気にかけてくださると非常に嬉しいです。



**キャベツ** 高野町の定植が終わり、口和地区（2.5ha）へと移動しました。

口和地区は県の整備事業により、さらに圃場が増えて1～10番まであります。

1～3番を除き、今年初めての作付けの新圃場となります。その後続く川北町

（富田など）と三次市の定植について、他作業のスケジュールや天気の都合も

ありますが、毎年夏の定植作業の遅れが出てしまうことが課題となっております。お盆までには川北地区の定植を開始、お盆明けには三次市の定植作業に入りたいです。

収穫作業は現在、高暮地区で進んでいます。品種はおきな、すいりよく、げっこうの3種類。栽培担当の重森さん

によると「すいりよく」は夏の高温には少し弱い印象。

高野町へ定植した「あじたま」は高温に強い品種とのこと。

猛暑ですが頑張って成長してくれるのではないかと期待されています。

販売では予定していた通り生協への出荷が7月2週目までで終わりました。

次は秋の10月～12月2週目ごろを予定しています。

販売では予定していた通り生協への出荷が7月2週目までで終わりました。

次は秋の10月～12月2週目ごろを予定しています。

販売では予定していた通り生協への出荷が7月2週目までで終わりました。

次は秋の10月～12月2週目ごろを予定しています。

## デントコーン

川土手の収穫が始まりました。8/1時点で川土手の作付面積の半分ほど収穫が完了。

このまま三次地区の菅田と寺町を収穫後に、川北町へと移動予定です。8月ほどの圃場も収穫間近で実が付き、イノシシに狙われやすい状況ですので最後の電気柵管理が必要です。

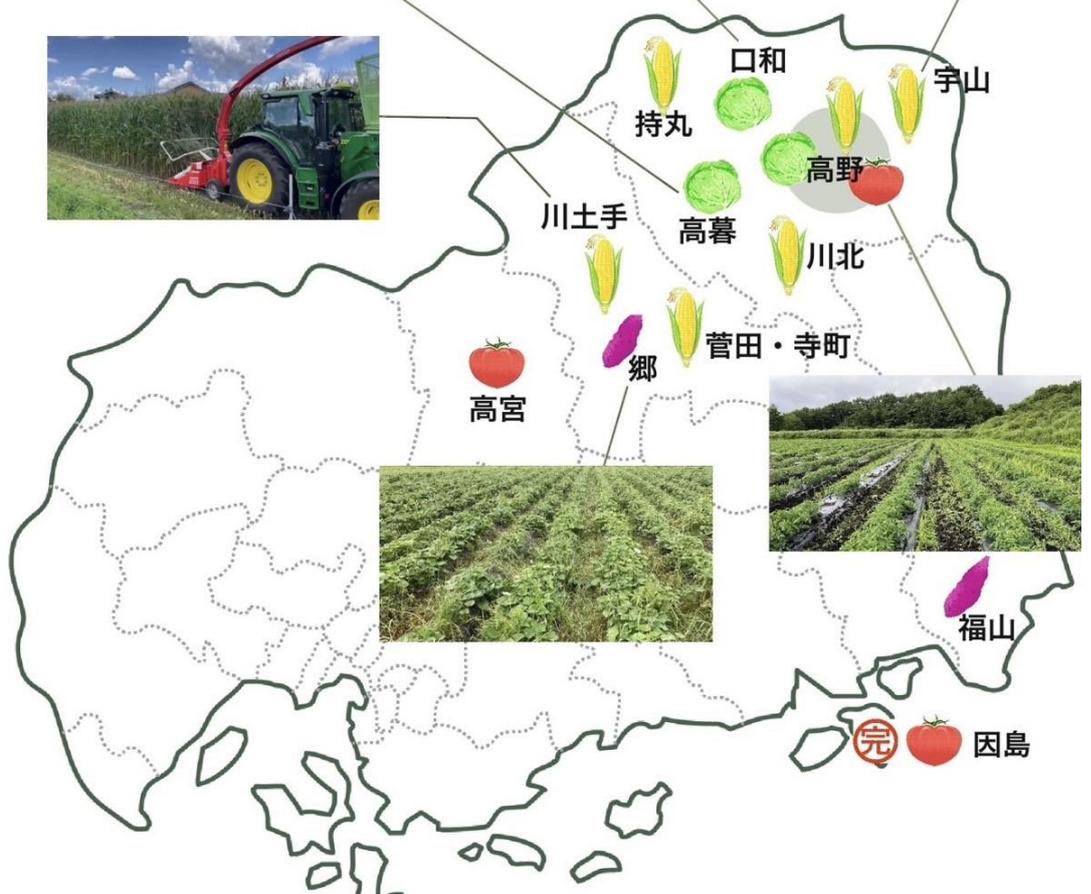
次のページイノシシ対策をまとめています。播種作業では、高野地区は予定していた圃場はすべて完了。持丸地区での播種作業が進んでいます。

このまま三次地区の菅田と寺町を収穫後に、川北町へと移動予定です。8月ほどの圃場も収穫間近で実が付き、イノシシに狙われやすい状況ですので最後の電気柵管理が必要です。

**サツマイモ** 現在、福山市の大橋団地と御領駅、三次市の郷で栽培中です。

電気柵に潜りこみイノシシによる獣害が発生することもあります。補強を重ね対策しております。

収穫はトマト収穫の落ち着いた後、10月頃になると思われます。



**イノシシの習性や特徴を調査!** 現在、vegeta の一番の敵はなんといってもイノシシ。改めてイノシシはどういう生き物か調べました。農研機構では餌付けしたイノシシを飼育し、跳躍力や潜りこむ高さを調査したそうです。思いのほか飛ぶ力も強く、電気柵は作動しており、壊れていない、掘った跡も潜り込んだ跡もないの獣害が発生する事も納得です。

[https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2201/spe1\\_01.html](https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2201/spe1_01.html) 農林水産省獣害対策ページ参照

<https://www.naro.affrc.go.jp/org/narc/chougai/ino-HP/ino-eco.htm> 農研機構鳥獣害研究ページ参照

## 頭脳

学習能力が高く、餌があるとわかると

同じ場所を何度も訪れる。

侵入経路を探し、複雑であるほど、  
とりあえず潜り込む選択を取ることが多い。

## 繁殖

毎年4～6月に4,5頭出産。

妊娠期間は120日間。

## 目

100m先の人間を見分けることが可能。  
夜はあまり見えない。

## 鼻

犬並みのとても鋭い嗅覚。

鼻先だけで50～60kgのものを持ち  
上げられる。

唯一毛が生えてなくて弱点。鼻の高  
さは地面から約20cm。



## うんち



## 食事

雑食(植物性7割:動物性3割)

春はタケノコ、秋はキノコや果実、

冬は木の根っこなどを食べる。

肉類は昆虫、ミミズ、カエルなども  
食べる。

## 行動

オスは単独行動。メスは小さな群れで行動。

基本は昼だか、人里では夜間に行動。

20cmの隙間があれば、土を掘らなくても潜  
り込める。

## 足



助走なしで1.2mの高さを飛び越える  
ことが出来る。

## 対策

①弱点の鼻の高さに合わせて電気柵を設置。

しかし、鼻の高さの20cmあれば潜り込むため、少し低め15～18cmほどに設置。

②ワイヤーメッシュはしっかり土の中に刺し、潜り込むのを困難にさせる。

③学習能力の高さを利用して、一度被害のあった圃場へ罠を設置し捕獲する。

④日中に隠れられる場所をなるべく無くす。



ちなみにシカは...



**菅田ゴミ分別にご協力ください。** 西村さんが菅田

ドームのゴミの仕分けをしてくださいました。種類ごとに捨てる箱を作ってくださいがあるので、ごみの分類にご協力ください。管理や分からないことは、担当:西村さん、副担当:東さんに聞いていただければと思います。自主的な片付け作業ありがとうございました!

